

一関市立桜町中学校 生徒数263名 教職員数32名

## 視点1：全職員で取組を推進するための組織運営

### 《取組内容》

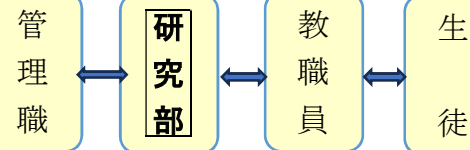
### 学力向上を目指す運営体制の再構築

諸調査分析で学力向上が課題

研究部の活性化を目指す

校内分掌から研究部を独立

校長のリーダーシップのもと、  
研究主任を始めとする研究部が力を発揮しやすい体制に！



校長の方針（ビジョン）の具現化

研究主任による  
学力向上に関わる講話

- ★「学習の質」について
- ★「分かる」「覚える」「維持する」段階について
- ★「目的」の大切さについて
- ★評価を次につなげることについて

職員会議における  
ワンポイントアドバイス

- ★「指導と評価の一体化」について
- ★ICTの積極的な活用について
- ★顔きの大切さについて
- ★メモを取る大切さについて

学力向上のための研究部主催の新規事業  
『年度始め学習習慣定着取組』の実施

### 家庭学習の質と量の向上を！

7日（火）の生徒朝会で、先月中旬に行われた学習習慣定着テストの表彰が行われました（右写真）。

このテストは「家庭学習の習慣化」と「基礎学力の向上」がねらいで、4月末に漢字・計算・英単語の学習プリントが配布され、2週間の取組期間が設けられていました。

結果は1位1B、2位1A、3位1Cと1年生が上位独占でした。表彰式では担当の哲也先生から「家庭学習は質と量、両方が大切。これからも頑張るように。」との総括がありました。



【『校報第9号』より】

### 《提言》

一策として、校長の方針（ビジョン）の具現化を進めるための学校の運営体制の見直しを図ろう！

# 視点2：学年や教科を超えた組織的な授業改善の推進

## 《取組内容》

## 生徒・教職員が一体となって取り組む授業改善

### 組織的な授業改善

生徒用アンケート

教師用アンケート

授業では分かった気がするが、定着していない

「分かる授業」から『分かって定着する授業』へ

学習内容をいかに理解させるか

学んだことから何ができるようにするか

### 授業に向かう心構えづくり

生徒用アンケート

教師用アンケート

生徒が主体的に取り組む3分前学習

生徒

教師

時間の管理

内容の提示

内容の指示

学校全体で育成を目指す資質・能力(R5)  
『根拠をもって思考・判断・表現する力』  
(思考力, 判断力, 表現力等)

2年 保健体育科「器械運動(マット運動)」

【本時の目標(5/10時)】

提供された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を、根拠をもって選んでいる。  
(思考力, 判断力, 表現力等)

《学習の見通し》

《学習課題の解決》



前時までに身に付けた知識と自分の動きの動画をもとに今日の課題を確認！

自分の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選択！

【学習の振り返り】(生徒の感想から)

- 前は、倒立を持続する時間が課題だったので、今日はマットを掴むようにして、姿勢をキープできるように気を付けました。
- 膝が曲がっていたので、動画で確認しながら取り組むことで、前回よりも姿勢が一直線になりました。
- 課題を解決するために、友達のアドバイスを聞いて目線に気を付けました。手と手の間を見て倒立ができるようになりました。

「子どもの姿」に基づいた授業研究会

生活場面で発揮！

他教科・領域等で発揮！

学校行事で発揮！

資質・能力の高まり

## 《提言》

生徒の思いを大切にし、「学校全体で育成を目指す資質・能力」を着実に身に付けよう！

## 視点3：調査結果の積極的活用

### 《取組内容》

### 持続可能な調査・分析・方針共有の在り方

#### 3つの『検証改善サイクル』の構築

##### ①学期ごとの検証改善サイクル

学期ごとに、生徒が自らの意識を振り返るアンケートによって、一人一人の資質・能力の高まりについて検証し、次の指導に生かしていくための検証改善サイクル。

1学期 → 2学期 → 3学期



##### ②諸調査分析による検証改善サイクル

各種学力調査の結果、生徒質問紙等の解答を分析し、指導に生かしていくための検証改善サイクル。  
(クロス分析、「授業実践の手引き」等の活用)

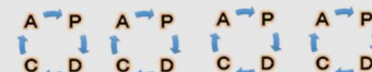
第1回 → 第2回 → 第3回



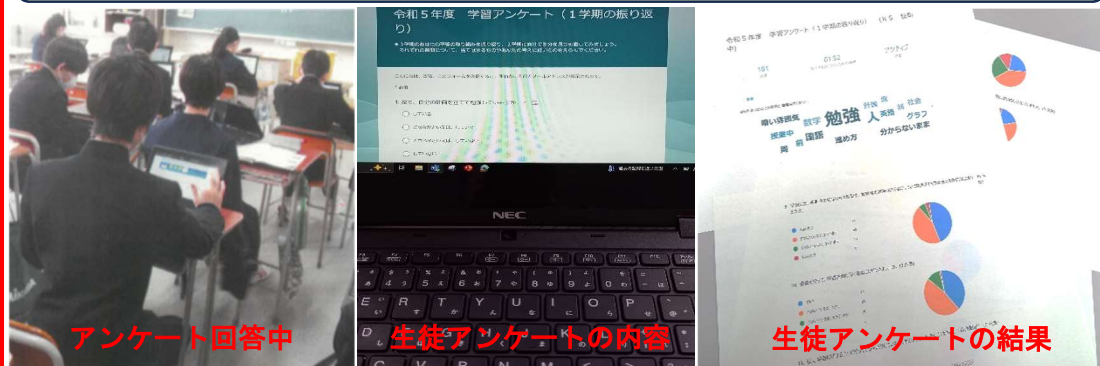
##### ③定期的検証改善サイクル

隔月ごとに教職員の指導を振り返り、教科指導の困難事項等を確認、授業づくりに生かすための検証改善サイクル。「授業改善チェックシート」の活用

5月 → 7月 → 9月 → 11月 → 1月



#### ICT 機器を使った検証（時間の短縮・働き方改革）

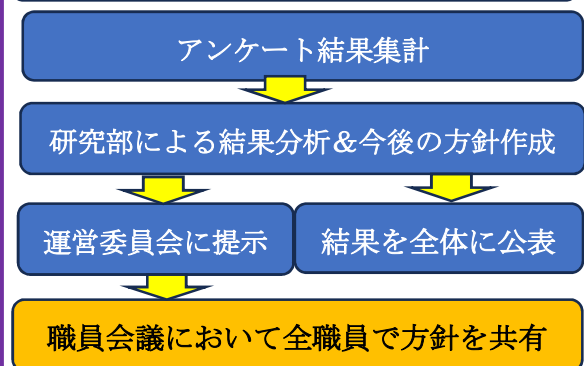


アンケート回答中

生徒アンケートの内容

生徒アンケートの結果

#### 方針共有の道筋



### 《提言》

ICT機器を効果的に使い、持続可能な三つの『検証改善サイクル』を構築しよう！